

事務事業名		栃木県都市統計事務研究会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	統計係	担当課長名	大木 聡	
	施策	3 市政情報の共有と広聴活動の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 広報活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	3464	1	2	5	1	栃木県都市統計事務研究会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S33 年度～ 年度		根拠法令 条例等	栃木県都市統計事務研究会会則		事業区分		市単独事業・国県補助事業	国県補助事業
								任意的事業・義務的事業	義務的事業		
								実施方法	直営		
								事業分類	広報・広聴・啓発事業		
								リーディングプロジェクト	該当なし		
								市長マニフェスト	該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
栃木県都市統計事務研究会に会員として負担金を拠出している。研究会主催の研修会、講演会に積極的に参加し、効率的で正確な統計事務の推進を目指すとともに、会員相互の連携を密にしている。	(市の活動) 総会1回(6月)、研修会2回(6月・3月)への参加。						
	(研究会の活動) 総会、幹事会、研修会の開催。県への要望活動、都市統計に関する情報の収集、統計資料の作成・配布。 平成25年度より当分の間、負担金の支出はなくなった。						
*栃木県都市統計事務研究会は、情報化社会に対応した都市統計事務の効率的な運営を期することを目的に県内14市で組織されている。	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	研修会	回	2	2	2	2	2
	視察研修	回	0	0	0	1	1
	参考図書配布	回	0	0	0	0	0

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 市統計職員 (参画団体) 栃木県都市統計事務研究会	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	研修会市職員出席回数	回	2	2	2	2	2
	視察研修市職員出席回数	回	0	0	0	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 県内各市の統計関係職員との連携・協力関係を強化し、情報交換、研修により統計事務の効率的な運営と統計知識の向上を目指す。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	研修会出席率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	視察研修出席率	%	-	-	-	100.00	100.00

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

行政が保有している統計情報を市民と共有する。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	佐野市ホームページ「統計情報」閲覧件数	件	2,412	2,087	2,500	2,500	2,500

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	2	1	2	2	2	
	のべ業務時間	時間	40	50	100	100	100	
	人件費計(B)	千円	156	197	394	394	394	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	156	197	394	394	394	

事務事業名	佐野市統計資料発行事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	統計係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和33年に統計の総合的開発を基調とした会員相互の連携、研鑽を密にし、情報化社会に対応した都市統計事務の効率的な運営を期することを目的として組織された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市町村合併により構成する市の数も増え、各地域の意見が聞けるようになった。いずれの市も広域化が顕著であり、同一市の中でも地域格差がある。また、合併の時系列の変化もあるため、以前の都市統計書のように一概に数字を持って各市の比較することは難しい。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	事務の効率化・軽減のため「都市統計書」について、幹事会等で廃止を含めた議論があり、一定の方向性が決まるまで休刊となった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	県内各市統計担当職員が情報交換、連携、協力することにより、正確な各種統計資料の提供・公開に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	国勢調査等の基幹統計調査は、「統計法」に基づくものであり、国からの法定受託事務である。それらの調査を円滑かつ正確に行うためにも、県内各市統計職員の情報交換、連携、協力が必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	同研究会の実施する事業を通して、県内各市統計職員が情報交換、連携、協力することにより、事務の改善や事務能力の向上につながり、実際の調査に活かされている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	20年度から負担金を千円に引き下げたが、それでも繰越金があるため負担金の廃止を提案した結果、25年度から当分の間、徴収しないこととなった。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	栃木県都市統計事務研究会参画事業は県内14市の担当者が研修や意見交換などを行ない、統計調査を効率的・効果的に進めるための行政内部の事務事業であるが、結果として総合計画による市民みんなであつくる夢のあるまちづくりに貢献するもので、受益者は市民全般となり負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	各市の統計関係職員との連携強化は、統計事務の実施に必要不可欠であり、県内の全市で運営する枠組みからも休止・廃止することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下	×		×	
				コスト																				
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下	×		×																				